育友会報 こまどり

第33号
発行
奈良県立香芝高等学校
育　友　会
TEL（0745）76-6772
FAX（0745）78-5730

スクールカウンセラー
布辻　真規　先生
（臨床心理士）
森本　匡一（まさかず）　先生
＜原則として火・金曜日に来校＞

ごあいさつ

育友会会長　南　公仁子

育友会会員の皆様には、日頃より育友会活動にご理解とご協力、そして各行事等にご参加いただきまして、心から感謝申し上げます。

殿村校長先生をはじめ、教頭先生、諸先生方におかれましては、生徒達への学習指導はもちろんの事、生活面や、クラブ活動等でも、日々愛情を注いで下さり、深く感謝申し上げます。

本年度の本部役員は、育友会8名、文化体育後援会7名（内兼任2名）、専門委員会10名の合計23名で活動しています。校内では体育大会、沢山の保護者の方々にご協力をいただきました文化祭のバザー、各専門委員会に所属の学級役員さんのお力をお借りしながらの研修会等への参加、県内外への講演会や大会など、香芝高校の保護者代表として、積極的に参加しております。

私事ですが、今年度は奈良県高等学校ＰＴＡ協議会の代表理事、Ｃブロック校副会長も務めさせていただいておりますので、県の代表として、他校の保護者の方々との情報交換や、沢山の交流がもてた事、多くの事を学ぶ機会に恵まれた事に、とても感謝しております。

役員活動の一番の目的は、子供達が、安全で、安心で、楽しく充実した高校生活を送れるよう、側面からサポートする事ではないかと思います。

役員会等で学校に行く度に、すれ違う生徒さん達が、笑顔で元気よく挨拶をしてくれます。ご家庭での躾の結果であるかと思います。「良いコミュニケーションには笑顔が大事」と聞きますが、明るく笑顔の絶やさない人の周りには、沢山の人が引き寄せられてくるからだと思います。笑顔がもつプラスのエネルギーのようなものでしょうか。日頃から、自然に笑顔で挨拶ができる事は、子供達が社会に出た時はもちろんの事、高校生である、今のあいだでも、良い人間関係を作る上で、最も役立つスキルだと思います。

これからも、子供達の成長を間近で見守りつつ、役員一同協力して、育友会活動に従事させていただきますので、今後とも、変わらぬご支援とご協力を、宜しくお願い致します。

相手の立場に立って

文化体育後援会会長　中島　千代美

年の瀬も押し迫り早いもので今年も締めくくりの時期となりました。文化体育後援会会員の皆様には日頃より本会の活動にご理解ご協力ご支援そしてご参加いただき心より感謝申し上げます。殿村校長先生はじめ諸先生方におかれましては日頃から生徒へ熱心なご指導をしていただいております事に厚く御礼申し上げます。

本部役員をさせていただき様々な行事や研修会等に参加させていただきました。六月の研修会では人間関係を良くするコツについて学びました。色んなコツを教えていただいたのですが、その中でも印象に残った話です。皆さんも考えてみてください。父親と息子がドライブに行きました。そこで事故に遭ってしまい別々の病院に運ばれ、息子は手術が必要となりました。そこで外科の執刀医が患者を見て私の息子ですと言いました。さて、執刀医と患者の関係は？私は実は本当の父親？と思いましたが、実は執刀医は母親でした。外科の先生は男性だと思い込んでいたのです。講師の先生は思い込みをしていたら本当の答えは出てこないとおっしゃっていました。

子育てでも人間関係でも自分がいいと思い込んでしている行為でも相手の立場に立ったらそうではない事もあると思います。自分のものさしではかるのではなく、人によって時と場合によって長さが変わる事を意識して、ちょっと自分のものさしを置いて相手のものさしで考えてみるという事も大切だと学びました。育友会活動を通じて様々な経験をさせていただき感謝しています。

最後になりましたが今後とも皆様のご支援とご協力を宜しくお願い致します。

伝統

校長　殿村　孝平

足早に冬が訪れ、朝夕の寒さを感じさせるころとなりました。

香芝高校が創立されて四十年が過ぎます。多くの生徒と先生方、保護者の皆様が行き交った学び舎を祝うため、十一月一日の創立記念日に記念式典を、晴天のもと挙行いたしました。奈良県教育委員会大西英人教育次長様をはじめ多数のご来賓をお迎えし、香志会（本校同窓会）会長大村泰弘記念事業実行委員長の方々はみなさん賞賛されていました。無事に記念式典を挙行できましたことを大変嬉しく思っております。ありがとうございました。

さて、本校は次の十年に向けての新しい一歩として、普通科の中に表現探究コースを来年四月から設置することになりました。表現が苦手な子どもたちがたくさんいる現実を踏まえ、活字による表現を基礎として、映像・音声など様々なメディアを教材とした探究的な学習を行うことで、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を身に付けた、創造性豊かな人材の育成を目指してまいります。このため、興味・関心をひく授業、効率的な授業を行うためには映像や音声、新聞等の多様な情報を用いる必要があることから、各教室へのプロジェクター設置を育友会及び同窓会役員会で承諾いただきました。ご支援・ご期待いただいたことに感謝し、十分活用できるようにしてまいる所存です。

育友会の皆様には、今後とも本校教育活動の推進のためにご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げる次第です。

もと無事に実施することができました。式典では、学校紹介ＤＶＤの上映、校歌合唱等を行い、記念品としてマグネット・クリアーファイル・ノートを作成・配布させていただきました。四十周年を記念した文化祭等を催してはいませんが、生徒や先生方はこのことを意識して展示などを行ってくれました。特に二年生全員で作成したモザイクアートは、とても素敵な素晴らしいものになり、来賓の

文化祭

育友会バザー

育友会副会長　道法　聖

去る9月5日（木）に令和改元後初の育友会バザーは盛況のうちに終える事が出来ました。

昨年度の収益ではスポットクーラー2台を体育館と格技場に設置していただきました。今年度の収益金66,410円も昨年同様、香芝高校の教育環境向上に役立たせていただきます。

また、開催日が文化祭2日目でしたので、普段の授業参観では見ることの出来ない模擬店やクラブ活動等の校内展示などがあり、小・中学校時代を凌駕する熱量に高校生の凄さを体感できました。

最後になりましたが、今年度も無事終える事ができましたのも、保護者の皆様や先生方のご理解・ご協力があってこそと、本会役員一同この場をお借りして御礼申し上げます。

来年度も何卒よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

近畿高Ｐ連合大会「和歌山大会」に参加して

育友会副会長　池田　孝志

和歌山市駅に到着してすぐ、おそろいのポロシャツを着た和歌山のＰＴＡの方々の人数に驚きました。道に迷わないよう、駅構内から各所で待機して案内してくださっているのです。誘導のおかげで迷うことな

く会場に到着し、席に着くと歓迎アトラクションとして紀北農芸高校 和太鼓部による演奏が始まりました。これまでは先輩から後輩へと継いでいた技術を、昨年からは専門の指導者の方も迎え、さらなる技術の向上に取り組んでいるという演奏はさすが圧巻の迫力でした。

広報紙コンクールの表彰と、Ｓｏｃｉｅｔｙ５．０の提唱により、新たな価値の創生・自己実現を図る必要がある変革の社会に生きる子どもたち。ＡＩやＩＯＴの発達・浸透が進む中、「家庭での子どもとのコミュニケーションの大切さ」をテーマに和歌山大会がスタートしました。

議会の役職の方への感謝状贈呈の後、清原信彦氏による記念講演が始まりました。

清原信彦氏は日本体育大学で講師を務められ、同大学水球部監督就任の際は３７６連勝21年間無敗という前人未到の記録を樹立され、２０１４年ソチパラリンピックの開会式でも披露された「集団行動」の研究と指導で有名な方です。わたしは「集団行動」をＹｏｕｔｕｂｅで拝見したことがあり、その一糸乱れぬ緻密なパフォーマンスに驚嘆したものですが、実はそのパフォーマンスは、学生たちの集中力・責任感・連帯感・達成感と、生きていく上で大切な素養を身に着けさせるために行われた講義と練習で生まれた結果にすぎず、過程そのものの大切さを説かれていたことにとても感銘を受けました。

昼食のお弁当をいただきながら、紀央館高校 書道部による書道パフォーマンスを拝見しました。床に置かれた巨大な半紙に、音楽に合わせて筆を走らせる書道部の学生たちは生き生きとして、会場中の空気を飲み込む活気に満ち溢れていました。

最後のパネルディスカッションでは、テーマにもある「家庭での子どもとのコミュニケーションの大切さ」について、コーディネーターの方と各府県市の保護者代表の方々が、ご自身の体験をもとに、円滑なコミュニケーションを図る方法について意見を交わされていました。父子家庭・母子家庭ならではの経験なども歯に衣着せることなく語られておられ、大変参考になり、充実した一日となりました。

全国高Ｐ連合大会「京都大会」に参加して

文化体育後援会副会長　堀川　浩子

第69回全国高等学校ＰＴＡ連合大会京都大会が8月22日（木）、23日（金）の二日間、京都市勧業館「みやこめっせ」とロームシアター京都で開催され、本部役員六名が参加させていただきました。

今大会のテーマは「Ｋｙｏから-未来を拓く」で、これまでのＰＴＡ活動の財産を振り返り、今後の活動の向上につなげることが目的でした。

初日は六つの分科会が開催され、私たちは第4分科会「高校生の人間関係について考える」に参加しました。佛教大学副学長の原清治教授の基調講演では大学で増加している相席を嫌うボッチ席や素顔を隠すマスクの流行の話があり、原因には異なる価値観の人間には興味を持たない自分の意見を言いたくない子供の増加があることや、学校ではキャラを演じて疲れている子供に対しては家庭内で親の考えを押し付けるのではなく、子供の悩みを理解することが重要と話されました。その後、今春卒業した元高校生五名をパネリストに、親や先生にこんなことをしてほしかったといった本音トークや、会場内の保護者の方も交えて家庭での子供との接し方について意見交換が行われました。

二日目は日本電産ＣＥＯの永守重信氏の基調講演があり、現代の学校教育や家庭教育の問題点、さらにこれから教育はどうあるべきかについて実体験に基づき熱く語られ、興味深く拝聴しました。

今大会で得られた知見や情報は、これから本学での様々な育友会活動を通じて育友会員の皆様にお伝えすることができればと考えております。

このような大きな大会に参加させていただき感謝申し上げます。

保健体育研修会「アンガーマネジメント入門講座」

保健体育委員長　西浦　久美子

今年の保健体育研修は、心の健康について考える機会として、アンガーマネジメント入門講座を企画しました。講師は日本アンガーマネジメント協会認定ファシリテーターの田中福代先生にお願いしました。怒りのメカニズムを知って、怒りの感情をコントロールする方法を考えるという内容でした。怒らないことではなく、怒る必要のあることは上手に怒れ、怒る必要のないことは怒らないようになる手法を教えていただきました。

ここ一週間を振り返って、すごく頭にきたこと。まぁまぁ腹が立ったこと。軽くイラッとしたことを各々思い出し、発表してもらい、共感したり、思わず笑ったりと終始和やかな雰囲気での一時間半でした。怒らせるものの正体とは、個人が持つ「○○は、こうあるべきだ。」という理想と現実とのギャップから生まれてくるものだということが分かりました。

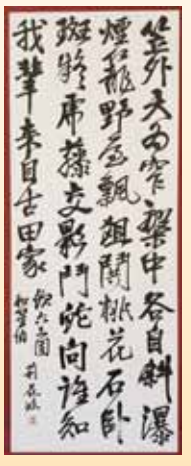
とても興味深い内容で、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

■令和元年度運動部活動成績

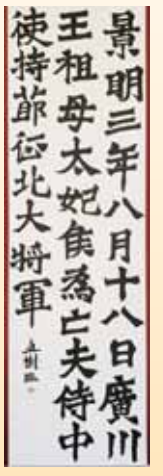
令和元年 12 月 1 日現在

クラブ名	大会名	成績・表彰者名
卓球部	平成 31 年度　春季卓球大会	女子シングルス　第３位　榊本　李々（３－８）
	第 28 回香芝市選手権卓球大会	一般女子一部シングルスの部　優勝　榊本　李々（３－８） 一般女子一部シングルスの部　準優勝　山本　菜月（１－４） 一般女子一部シングルスの部　第３位　田中　陽佳（１－５） 一般男子一部シングルスの部　優勝　山本　一翔（２－６） 一般女子ダブルスの部　優勝　榊本　李々（３－８）・山本　菜月（１－４）組 一般女子ダブルスの部　第３位　岸本　百加（２－３）・辻　花菜（２－４）組
	令和元年度 第 88 回全国高等学校総合体育大会県予選 兼 第 73 回近畿高等学校卓球選手権大会	女子学校対抗　第３位
	令和元年度奈良県高等学校新人卓球大会 第 47 回全国高等学校選抜卓球大会 (近畿地区予選会) 第 34 回近畿高等学校新人卓球大会奈良県予選会	女子学校対抗　第３位
		女子ダブルスの部　第３位　新熊　涼葉（２－６）・山本　菜月（１－４）組
陸上競技部	第 72 回奈良県高等学校陸上競技対校選手権大会　兼 第 72 回全国高等学校陸上競技対校選手権大会県予選会	女子　走幅跳　　第６位　杉浦　杏（１－４）
	第 70 回奈良県高等学校駅伝競走大会	総合の部　第５位　今谷・松本・杉目・田端・田中・今里・岩木
		区間の部　第４区　第３位　田端　映空（１－８）
	第 70 回県民体育大会 ウェイトリフティング	国体予選の部　少年 55 kg級　第１位　木村　龍一（２－８）
	第 24 回近畿高校ウェイトリフティング競技選抜大会県予選	ウェイトリフティング　男子 55kg 級　第１位　木村　龍一（２－８）
	第 52 回近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会奈良県予選会 （第 52 回近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会参加）	１年男子 円盤投　１位　渡邉　大樹（１－２） １年女子 走幅跳　１位　杉浦　杏　（１－４）　１年女子 三段跳　３位　杉浦　杏　（１－４）
	第 72 回奈良県高等学校総合体育大会	女子　走幅跳　第１位　杉浦　杏（１－４）
		男子ウェイトリフティング 61 kg級　第１位　木村　龍一（２－８）
		男子ウェイトリフティング　競技団体戦　第２位　木村　龍一（２－８）
サッカー部	令和元年度　全国高等学校総合体育大会サッカー競技奈良県予選兼 令和元年度第 72 回近畿高等学校サッカー選手権大会奈良県予選	第３位
	第 72 回奈良県高等学校総合体育大会	E ブロック第１位
	第 98 回全国高校サッカー選手権大会奈良大会	第３位
バスケットボール部	第 72 回奈良県高等学校総合体育大会	男子　B ブロック　第１位　　女子　C ブロック　第２位
ソフトテニス部	第 72 回奈良県高等学校総合体育大会	男子 A　第３位
	令和元年度　奈良県高等学校ソフトテニス新人大会	女子団体　第３位
空手道部	第 72 回奈良県高等学校総合体育大会	男子個人　形　第４位　　西川　勇志（１－２）
		男子個人　組手 (初心者)　第３位　小谷　瞳和（１－４）
水泳	第 26 回奈良県高等学校新人水泳競技大会	男子 100m　背泳ぎ　　第６位　乾　翔貴（１－６）（第３回近畿高等学校新人水泳競技大会参加）
	第 72 回奈良県高等学校総合体育大会	男子１年生の部　100m背泳ぎ 第２位　乾　翔貴（１－６）
		男子２・３年生の部　200m個人メドレー 第４位　山口　大星（２－３）
放送部	第 34 回奈良県高等学校総合文化祭（放送部門）	朗読部門　最優秀賞　岸田 優菜（２－１）
書道部	第 46 回奈良県ジュニア美術展覧会	佳作（書芸　臨　呉昌碩）　木村　莉花（２－４）
		佳作（書芸　臨　賀蘭汗造像記）吉岡 直樹（２－８）
	第 34 回奈良県高等学校総合文化祭（書道部門）	奨励賞　吉岡 直樹（２－８）
	第 66 回日本学書展	特選　中島 幸紀（１－７）
美術部	第 43 回全国高等学校総合文化祭（美術部門）	作品名「フミツキ」　林　駿（２－５）
	第 34 回奈良県高等学校総合文化祭	美術・工芸部門　優秀賞　令和元年度十津川巡回展推薦作品　土井 太智（２－４）林　駿（２－５）
吹奏楽部	第 61 回奈良県吹奏楽コンクール	高等学校の部 A　　銀賞
	第 39 回近畿高等学校総合文化祭（吹奏楽部門）	奨励賞
コーラス部	第 43 回全国高等学校総合文化祭（合唱部門）	出場
	第 86 回 NHK 全国学校音楽コンクール　奈良県大会	高等学校の部　奨励賞
バトン部	第 37 回関西バトントワーリングコンテスト	ツーバトン　初級　金賞　木内　風花（３－３）、上　穂乃香（３－６） ツーバトン　初級　銀賞　新井 出海（３－２）、部原 夕海（３－３）、齋藤 春姫（３－５）、 奥村理子（３－６）、山田 真悠（３－６）、渡邉 栞里（３－６）
		ソロトワール上級　金賞　徳田　凜音（３－６） ソロトワール上級　入賞　柏原 凜奈（３－３）、南田 真由子（３－３）、後藤 美菜（３－７）、 安達 加奈子（３－８）
		ソロトワール中級　金賞　藤原　美月（２－２）、吉田 奈恵（２－１）、近藤 愛莉（２－３）、 三瓶 真緒（２－４）、中井 朱音（２－４）、欅谷　鈴（２－６）、塩崎 愛菜（２－６）、芳山 桃羽（２－６） 今尾 莉子（２－７）岡村 葵璃（２－８）、菅原 史絵（２－８） ソロトワール中級　銀賞　児嶋　結衣（２－５）
	第 24 回バトントワーリング奈良県大会	金賞
	第 41 回バトントワーリング関西大会	金賞
コンピュータ部	2019 高校生ＩＣＴ　ＣＯＮＦＥＲＥＮＣＥ　全国大会	サミット出場　森本健一　（２－５）
	平成 30 年度緑化作品コンクール	ポスターの部　入賞　定　柚花（２－３）　杉本雄大（２－５）
	第 32 回サンダル履物コンテスト	奈良県知事賞　神代　千咲（１－７）
	奈良県「子どもの読書活動推進」啓発ポスター	高等学校の部　優秀賞　結城　心羽（１－４）
	奈良県高等学校　独奏・独唱コンクール	声楽部門　銀賞　庄司　朱里（３－５）　　銅賞　榊本　莉美（１－２）

奨励賞　2年8組　吉岡　直樹

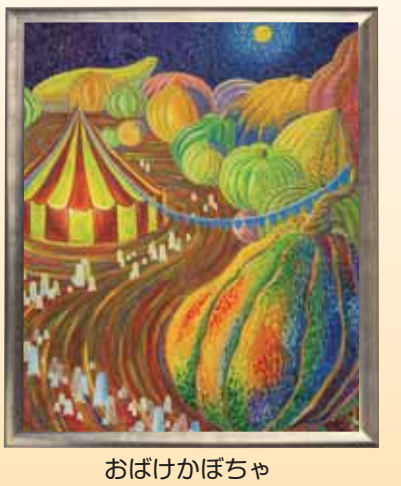


佳作　2年4組　木村　莉花



佳作　2年8組　吉岡　直樹

優秀賞　2年5組　林　駿
ダンデライオン



優秀賞　2年4組　土井　太智
おばけかぼちゃ

家庭教育研修（淡路島）

家庭教育委員長　松田　淳子

紅葉が美しい季節となった11月、研修旅行の日はとても良い天気に恵まれました。

校長先生はじめ、役員・保護者の皆さん41名で淡路島方面へ出発。

車中は自己紹介やビンゴ大会、また毎年お世話になっている香芝高校出身のバスガイドさんの楽しい話であっと言う間に淡路島に到着しました。

まず安藤忠雄氏による設計の施設、チャペルの見学をし、淡路島が・「古事記」「日本書紀」によるとイザナギ、イザナミの2神により最初に生み出された日本発祥の地とされており、その背景から現代の国産みとしての淡路島全体の整備が進められ淡路夢舞台が誕生したそうです。

そして参加者の大半が一番楽しみにしていた昼食です。ウェスティンホテル淡路にてブッフェで美味しいランチを思う存分いただきなから、各テーブルで子どもの学年が違う保護者同士、学校や子どもの事など情報交換する事ができとても貴重な時間となりました。

午後からはパルシェの館で花の説明を受けた後、ハーバリウム作りを体験しました。小さなドライフラワーの花をバランス良く入れ、専用のオイルを入れて完成です。それぞれが世界に一つしかないマイハーバリウムを持ち帰りました。その後淡路ハイウェイオアシスにて買い物。

こうして今年の研修旅行も無事、すべての行程を終え全員無事故で楽しく有意義な一日となった事に感謝しています。来年も多くの保護者の皆様のご参加をお待ちしています。

大学見学会（甲南大、武庫川女子大）

進路対策委員長　中村　美紀

7月3日（水）、毎年恒例の大学見学会に行ってきました。今年は、甲南大学と武庫川女子大学を見学させていただきました。総勢31名でバスに乗り込みました。兵庫県という事で少し長い時間の移動と思っていましたが、車中で自己紹介を行い、ビンゴゲームで盛り上がり、あっという間の到着でした。

まず、甲南大学岡本キャンパスを見学しました。今年、甲南学園創立100周年という事でした。2班に分かれて学内を案内していただきました。個人やグループで自習できるスペースやフィットネス施設、驚いたのは、ボルダリングの壁が設置された部屋があったことです。学生達が生き生きとしてとてもよい環境で勉強しているようでした。昼食は学生達に混じり学食で楽しくいただきました。最後に入試担当の方から映像を交えた説明をしていただきました。ミディアムサイズの総合大学でありながら、顔がわかる〝少人数教育〟という事でとても魅力と安心を感じました。

次に、武庫川女子大学に移動しました。入試担当の方に映像による説明をしていただきました。2020年に開設予定の学部の、今建設中である校舎のイメージ図は、大学とは思えないような開放的でオシャレなものでしたが、学生達が共に学び合える環境の場になっているそうです。説明の後、校内を案内していただきました。女子大学という事もあり建物やカフェなどとてもオシャレでした。図書館は開架式で書棚がボタン一つで移動でき、本の多さも驚きでした。開設予定の学部や学科があり、新しい事にも積極的な学校だと思いました。

どちらの大学も社会に貢献できる人材育成に力を入れておられると感じました。有意義な時間を過ごすことができました。

見学にあたり、お世話していただいた先生方、参加してくださった皆様、ありがとうございました。

「わたしが変わる、わたしが変える」〜男女共同参画をすすめるために〜

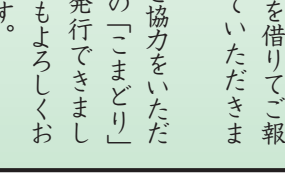
人権教育委員長　紙中　昭

今回の研修会では私たちの身の周りにある「男はこうあるべき」「女だから」などという性別に対する偏った思い込み（ジェンダーバイアス）の存在に気づき、変えていくことは一人一人が「当事者」として取り組むことのできる大切な人権課題であるということをテーマにお話を聞かせていただきました。

その中で「一人一人の人権が尊重されるために」という項目の中でDVとデートDVについてというものがあり、デートDVという言葉を初めて知りました。デートDVとは恋人や交際相手などデートするような間柄で起こる暴力ということでその中には、カラダへの暴力（撲る蹴る・・・）・ココロへの暴力（怒鳴る、無視する、脅す、馬鹿にする、束縛する・・・）・お金を使った暴力（いつもおごらせる、借りたお金を返さない、無理やり仕事をさせる・・・）・性的な暴力（無理やりキスなどをしてくる・避妊してくれない・・・）・デジタル暴力（携帯チェック・彼、彼女の以外のアドレスを消させる・撮った写真を他の人に送る・・・）と言う内容のものであると言う事を知りました。DVと聞くと身体的暴力を想像しがちでしたがそれだけではなく付き合っている相手から携帯をチェックされ他の異性と連絡をしないように束縛されたりと言う様なよくありそうなことも含まれるんだと勉強になりました。また、このようなデートDVと呼ばれるものは子供達の中で頻繁に起こっているんではないかと心配にもなりました。デートDVについては子供達にもしっかりと学習してほしい内容であると思います。

乗車マナー向上運動（VPA活動）に参加して

生徒指導委員長　喜多　学志



VPA（ボランタリー・パトロール・アクティビティー）活動は、奈良県高等学校PTA協議会、奈良県高等学校生徒指導研究協議会が主催し、県内一斉で、駅構内、電車等の乗降時のマナー向上を趣旨として、青少年の健全育成を目指したものです。

11月8日（金）、今年も生徒指導部先生、教員、保護者委員、及び県警察等が協力して巡視活動を行いました。

巡視コースは例年通りで、生徒の利用が多い、近鉄五位堂駅〜八木駅、JR香芝駅〜王寺駅間をそれぞれが分担し、各路線に分かれて行いました。

下校する生徒が、ちらほらと集まってくる時間帯になると、駅前に立っている私たちや先生の姿を見つけ、少し照れくさそうに会釈をする生徒さん、「さよなら〜」と元気よくあいさつをしてくれる生徒さん、先生と楽しそうに会話を交わして帰宅する姿など、普段はあまり見ることができない機会に触れることができ、とても有意義な時間でした。

ここ数年の傾向として、歩きスマホが目立ち、先生から声をかけられている姿や、乗車中はゲームなどに夢中になる光景が多く見受けられました。一方で、乗車中は他の利用者のご迷惑にならないようにと、イヤホンをしながら音楽を聴いたり、ゲームをする生徒さんも多く見られました。先生方のご指導により、乗車マナーの向上や、社会性が育まれて来ているんだなあと、香芝高校生を誇りに感じられることもありました。

日頃から、地域の方々や駅員さんなど、様々な大人から子ども達を見守っていただき、学ぶ機会を得られていることに感謝の気持ちです。

今回のVPA活動に参加していただいた皆さま、本当にありがとうございました。今後も、学校活動や育友会活動にご協力いただけると幸いです。

編集後記

創立40周年を迎え、記念式典が行われました。母校に誇りを持ち式典に臨む凛とした生徒たちの姿に、日頃の先生方のご指導に感銘を受けました。校歌演奏の時のコーラスでは、思わず拍手をしたくなる気持ちをおさえ聞き惚れる素敵な歌声でした。とても厳粛で立派な式典に参加させていただいたことに感謝致しております。

より良い教育の環境整備のために、各教室にプロジェクターの設置を行います。育友会費より充当させていただきました。この場を借りてご報告をさせていただきます。

皆様のご協力をいただき第33号の「こまどり」を無事に発行できました。今後ともよろしくお願い致します。